

大綱主要項目		事務事業の効率化				
具体的な項目		第3セクターの経営の健全化・合理化				
実施計画項目		真岡鐵道(株)				
担当課		総合政策課		関係課		
No.Ⅲ-4-(2)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は数値目標	新たな経営計画策定に参画。計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援	新たな経営計画策定に参画。計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援
進捗状況	実績	A	A	A	A	A
	効果又は数値実績	新たな経営計画策定に参画し、計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した	新たな経営計画策定に参画し、計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した
現状と課題						
真岡鐵道は、通勤・通学者や、高齢者・子どもなど交通弱者の日常生活を支える重要な交通手段であることから、「地域の足」の確保のために、継続的な支援が必要である。真岡鐵道株式会社に対しては、関係自治体で施設整備に係る地域公共交通確保維持改善事業費補助金や、経営収支の不足分を補う経営安定化補助金等にて経営支援を行っている。 経営については、輸送人員が平成6年度(1,712,797人)をピークに減少傾向にあり、(令和7年度854,045人)特に全体の約7割を占める定期通学客は少子化の影響による減少は避けられず、新たな輸送人員の増加策が求められるほか、経費節減等の経営改善が必要である。また、鉄道インフラの老朽化等、新たな経営課題が生じている。						
課題解決に向けた方策						
関係自治体と連携しながら、令和6年度に策定した第五期真岡鐵道経営計画(計画期間R7～R9)の推進を支援し、経営計画に定めた輸送人員や収入が目標に達しない場合は、計画の見直しを求めていく。【令和7年度修正】						
具体的な取組内容						
・令和7年度は、関係自治体とともに以下の経営支援を行った。 【令和7年度】 ・真岡鐵道経営計画の各施策を推進し、関係自治体とともに真岡鐵道経営安定化補助金の交付等の経営支援を行った。(真岡市支援額：44,255,874円) ・物価等の高騰で、例年より支出の増加が見込まれる真岡鐵道を支援し、今後も市民の移動を支える重要な交通手段として確保、維持していくため、真岡鐵道通学定期の購入費を助成した。 R6のべ定期通学客数 547,459人 ⇒ R7のべ定期通学客数 550,223人 (交付実績：326人8,847,000円 重点支援地方創生交付金活用)						
総括(推進期間全体における成果等)						
関係自治体とともに経営支援を行うにあたり、令和4年3月には、令和6年度までを目標とする「第4期経営計画」を策定し、令和7年3月には、令和9年度までを目標とする「第5期経営計画」を策定し、現在に至る。 令和3年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会社の運営資金が枯渇する恐れがあったため、前年度に引き続き、関係自治体とともに緊急支援を行った。 令和4年度、5年度には、原油価格高騰や物価高騰の影響を緩和するため、関係自治体とともに特別支援を行うとともに、令和4年度から7年度までは、独自に通学定期券購入助成事業を実施し、日常生活における移動手段としての鉄道路線の維持に努めた。						
今後の取組方針等						
・真岡鐵道経営計画に基づく各施策を推進するとともに、真岡鐵道経営支援協議会での検証結果を踏まえ、効果的な施策実施の支援を行う。 ・安全運行の確保のために、鉄道の施設・設備の現状を分析し全体像を明らかにしたうえで、必要となる維持管理費用の見通しを立て、費用の平準化を図るよう長期的な修繕計画の策定を進める真岡鐵道に対し、関係自治体とともに助言を行う。						